

中高一貫校における MYP導入の勧め

坪谷ニューエル郁子

国際バカロレアのプログラム

PYP(幼稚園、小学校のレベル)

探究する人としての基礎教育。そのために必要な知力、体力、精神力のバランスの取れた人間になることをめざす。

MYP(中学校レベルのプログラム)

教科を学びながら、実社会とのつながりを理解し、分析し、省察して考える人間になることをめざす。

DP(高校レベルのプログラム)

大学受験やその先の人生を見据え、強みや個性を明確にして、自らが進む道を見極められる人間になることをめざす。

MYPとは何か？

- 第1言語(母国語／国語)
- 第2言語(外国語／英語)
- 人文科学(歴史や地理等)
- サイエンス(生物、物理、化学など理科的科目)
- マス(数学)
- アート(芸術)
- 体育
- IT

5つのテーマ

- 学習の姿勢／学習する上での心構えや態度を学ぶ
- 人間の創造性／様々な方法で人間の創造力と成果を探究し、それが社会とどのような影響をもたらしてきたのか、人の心にどのような影響を与えて来たのかを考えます。
- 共同体と奉仕／自らが責任のある共同体の一員と認識し、社会に貢献するスキルを獲得し、共同体への積極的な参加を促す。
- 多様な環境／環境と人が互いに依存していることを認め、自分たちが環境に対して責任のある行動を取れることをめざす。
- 健康と社会教育／主体的に幸福で健康な人生を送るために、健康と知性を培う。

- 1 5つのテーマを中核に置き、8つの教科を組み込んだ「教科融合型」
- 2 子どもたちの人間的成長に伴い、「生徒達が共同体の一員としての役割や責任を自覚し、他者と共生していく力を養う。
- 3 学習教科だけでなく、学校行事やボランティア活動といったいわゆる課外活動にも重点を置く。
- 4 外部評価を取り入れた評価システム(客観的に評価できる仕組み)

MYPの導入により、自ら課題や答えを探していく人材の育成

MYP導入の効果は非常に高い